

学習指導案について

本学習指導案では、わたしたちの研究が授業実践において反映できるように、以下に示すことを考慮して作成しました。

「学び」のつながりとひろがりを目指すために（細案）

「2 題材（単元）について（1）題材（単元）設定の理由〈展望〉」において、本題材（単元）のつながりとひろがりについて大まかに述べました。

「4 指導計画」において、習得－活用を踏まえたつながりについて記入しました。

子どもの「学び」を細かく見るために（細案）

「2 題材（単元）について（2）実態」において、本題材に関する実態の観点を設けて記入しました。

「5 本時の学習（2）全体目標に関する評価」を設けて、評価の観点ごとに評価規準を記入し、全体目標と個人目標との関連性や何をもって評価するのかについて整理しやすいようにしました。

授業実践における主体的な「学び」の姿を目指して（細案・略案）

「5 本時の学習（3）指導及び支援に当たって」（細案）及び「2 本時の学習（3）指導及び支援に当たって」（略案）において、「学習活動の概要と授業環境の工夫」、「教材・教具とのかかわりについて」、「人（友達や教師）とのかかわりについて」、「自分とのかかわりについて」の教師の具体的な手立てを記入しました。

「5 本時の学習（5）実際」（細案）において、各学部研究の視点を入れ込むようにしました。

分科会の授業研究において、主に協議する中心授業については細案、そのほかの授業については略案を掲載しています。（小学部・高等部）

中学部においては、細案で述べてあるグループ以外の生徒についての個人目標一覧を掲載しています。御参照ください。